

2021年度入学者 選抜試験日程

修士課程

	第1回試験	第2回試験
出願期限	2020年10月16日(金)	2021年1月8日(金)
第1次審査合格発表	2020年11月4日(水)	2021年2月1日(月)
第2次審査(筆記試験)	2020年11月11日(水)	2021年2月8日(月)
第2次審査(面接)	2020年11月12日(木)又は11月13日(金)	2021年2月9日(火)又は2月10日(水)
第2次審査合格発表	2020年11月24日(火)	2021年2月24日(水)
入学時期	2021年4月	2021年4月

博士課程

	第1回試験	第2回試験
出願期限	2021年1月20日(水)	2021年5月14日(金)
第1次審査合格発表	出願期限日から、原則として、2か月以内に本人に通知する。	
第2次審査(面接)	第1次審査に合格した者にのみ実施する。第2次審査の詳細は、第1次審査結果と共に通知する。	
第2次審査合格発表	第2次審査日から、原則として、2か月以内に本人に通知する。	
入学時期	2021年4月または10月	2021年10月

学費等

● 検定料: 30,000円 ● 入学科: 282,000円 ● 授業料(年間): 535,800円



Photo: Masao Nishikawa

入試に関する問い合わせ

政策研究大学院大学 アドミッションズオフィス

〒106-8677 東京都港区六本木7-22-1
TEL: 03-6439-6046 FAX: 03-6439-6050
E-mail: admissions@grips.ac.jp

プログラムに関する問い合わせ

政策研究大学院大学 科学技術イノベーション政策プログラム

〒106-8677 東京都港区六本木7-22-1
TEL: 03-6439-6044 FAX: 03-6439-6040
E-mail: gist-ml@grips.ac.jp



<https://gist.grips.ac.jp/education/certificatepg.html>

2021

科学技術 イノベーション政策 プログラム



GiST
GRIPS Innovation, Science
and Technology Policy Program


GRIPS
政策研究大学院大学
NATIONAL GRADUATE INSTITUTE
FOR POLICY STUDIES

政策研究大学院大学
科学技術イノベーション政策プログラム

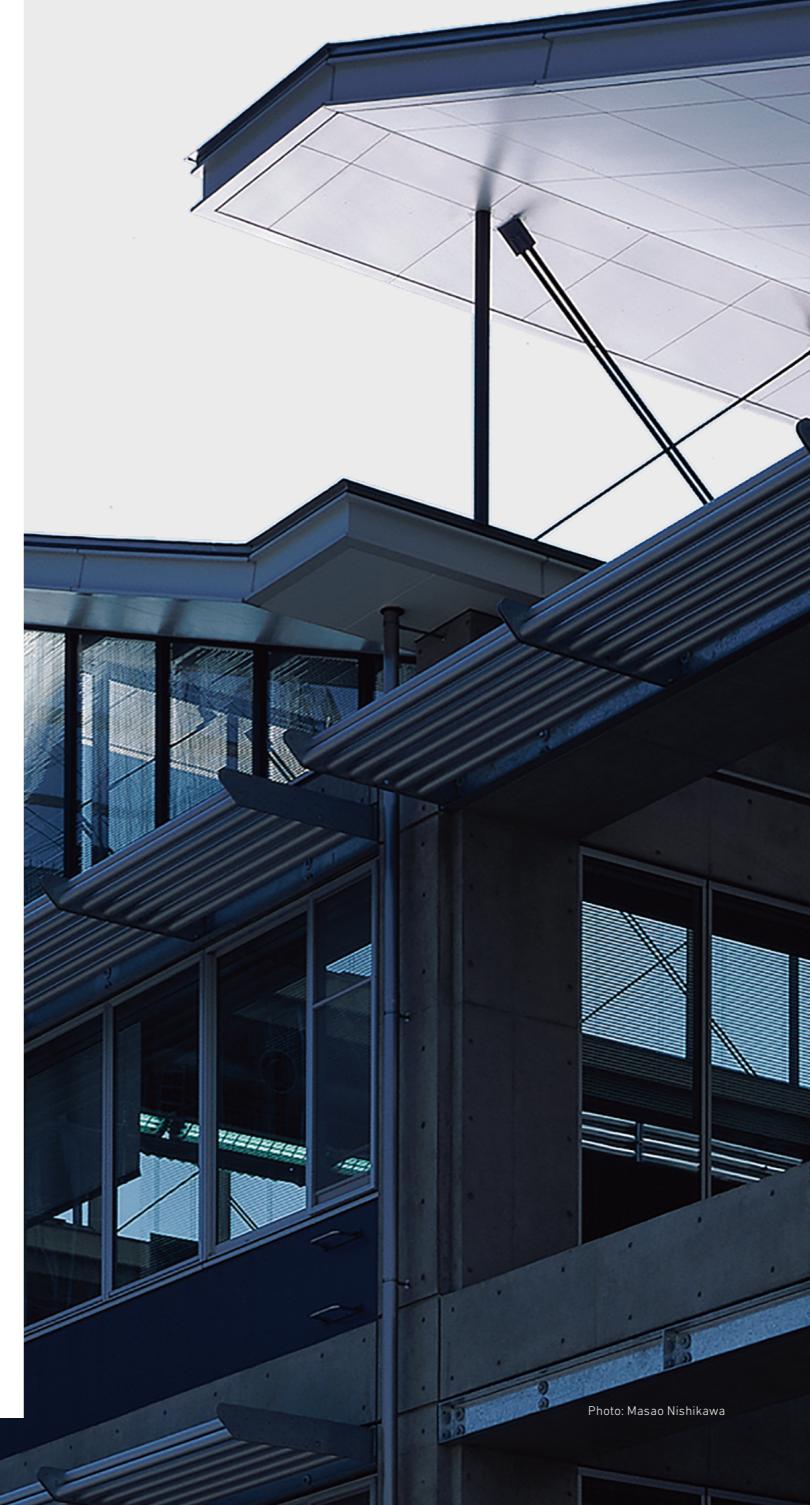


Photo: Masao Nishikawa

Science, Technology and Innovation



進化する科学技術、変化する社会。 未来の科学技術 イノベーション政策を考える

科学技術イノベーション政策プログラムディレクター
林 隆之



知識が社会経済の発展に大きな影響を及ぼす知識基盤社会の到来が指摘されて既に数十年が経ちました。社会経済はその後に複雑さと不確実さをいっそう増しており、高度な知識を集約させた科学技術イノベーションの適切な推進が、我が国のみならず世界のあり方を決める重要な要因となっています。

しかし、科学技術イノベーションに関する政策の立案や実施は容易ではありません。科学技術の研究開発活動は高度に専門的であり、その成果が社会で実用化されてイノベーションを実現するには長期間の複雑なプロセスを経ます。また、持続可能な社会の実現に向けては、多様なステークホルダーを含めた多面的な要素を含む意思決定が求められます。このように複雑な対象を扱う政策として、科学技術イノベーション政策自体が、客観的根拠に基づく立案、実施、評価を行うよう、高度化することが求められています。

本プログラムは、日本で唯一、科学技術イノベーション政策に焦点を置いて修士号と博士号の授与を行う教育課程です。本プログラムを通じて、科学的アプローチを用いた科学技術イノベーション政策や戦略の企画・立案・実行・評価、修正の実務をおこなうことができる高度専門職業人や、科学技術イノベーション政策に関する高度な研究能力を有する研究者の育成を行っています。

さらに、2020年度からは、授業科目を夜間や土曜日にも開講し、働きながら修学できるように改編を行いました。また、履修証明プログラムである「科学技術イノベーション政策・経営人材養成短期プログラム」を新設しました。これにより、多くの人に修学の機会を提供できると考えています。

政策研究大学院大学は、ミッドキャリアの政治家・行政官・企業人を政策や戦略のプロフェッショナル、将来の指導者として養成することを目的として、世界的にネットワークを拡大しています。本プログラムの日本人学生も国内にいながら、そうしたキャリアの留学生とのつながりを得ることも可能です。

科学技術イノベーション政策に対する高い問題意識を持つ人材が集結し、本プログラムで得られる知見がキャリア形成と政策実践に活かされることを強く期待しています。

INDEX

- P03 対象／期待される修学成果
- P04 教員紹介
- P05 修士課程
- P07 博士課程
- P09 研修・セミナー等
- P10 教育環境
- P11 入試情報／問い合わせ



FACULTY PROFILES

教員紹介



林 隆之

教授・プログラムディレクター

専門分野

科学技術政策、科学計量学、
高等教育政策、政策評価



岡藏 康一

教授

専門分野



根井 寿規

教授

専門分野

エネルギー政策、原子力安全政策、
地域産業政策



インタラカムナード・パタラポン

科学技術イノベーション政策プログラム

副ディレクター



鈴木 潤

教授

専門分野

科学技術政策、イノベーション経営



飯塚 優子

教授



廣木 謙三

教授

専門分野

水防災、国際協力



ブラマー・マシュー

講師



角南 篤

学長特別補佐 / 客員教授

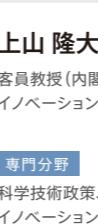
専門分野

科学・産業技術政策論、公共政策論、
科学技術と外交



有本 建男

客員教授

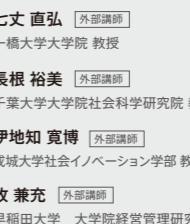


上山 隆大

客員教授(内閣府総合科学技術・
イノベーション会議 有識者議員)

専門分野

科学技術政策、科学技術史、公共政策、
イノベーション政策、アメリカ研究、
高等教育論



豊田 正和 外部講師
日本エネルギー経済研究所 理事長

久谷 一朗 外部講師
日本エネルギー経済研究所 研究理事

柴田 善朗 外部講師
日本エネルギー経済研究所 研究主幹

末広 茂 外部講師
日本エネルギー経済研究所 研究主幹

Luca Escoffier 外部講師
EU-Japan Centre for Industrial Cooperation

その他、特別講師多数

What We Look For 育成する人材像

- ▶ 国の科学技術イノベーション政策に携わる中央省庁の行政官
- ▶ 研究開発の実施や資金配分を担う組織で企画立案や評価などのマネジメントに携わる職員
- ▶ 地域において科学技術イノベーション関連の政策に携わる地方自治体職員
- ▶ 大学で研究開発のマネジメントに携わる教職員やリサーチ・アドミニストレーター(URA)
- ▶ 企業や非営利組織において研究管理やイノベーション創出に携わる担当者
- ▶ 大学や公的研究所等において科学技術イノベーション政策に関する研究ならびに教育を行うことを目指す方
- ▶ その他、科学技術イノベーション政策に関心があり、実務や研究に携わることを目指す方

ACHIEVEMENT

期待される修学成果

公共政策に係る知識を持ち、それらの文脈の中で
科学技術イノベーション政策をとらえ、分析ができる
能力

科学技術イノベーションとその政策に関する学術的
知識を有し、それらを政策課題に対して応用する
ことができる能力

科学技術イノベーション政策の形成や実施の実務に
関する理解を有し、理論と実務を架橋した実践的な政
策提言ができる能力

科学技術イノベーション政策の課題を対象に、科
学的アプローチに基づき、問題を設定し、仮説を構
築し、定量的・定性的データ等を活用して分析を行
い、それらを政策提言としてまとめ、政策形成者に
対して示しコミュニケーションできる能力

グローバル社会において異なる価値観や制度を尊
重し、その中で科学技術イノベーション政策を理解し
てコミュニケーションする姿勢を持ち、リーダーおよ
びフォロワーとしての役割を自覚して活躍できる能力

本プログラムでは、科学的なアプローチを用い、科学技術イノベーション政策や戦略の企画、立案、遂行、評価、修正を行うことができる職業人および研究者を将来目指す方を育成します。このような人材に求められる政策研究能力と政策や戦略の企画・実践力を育成するため、必要となる複数のディシプリンをとともに、社会科学諸分野における分析能力、外国語能力が獲得できるようカリキュラムを編成しています。授業は夜間と土曜にも開講しており、仕事を継続しながら修学することも可能です。

修了要件

カリキュラムに掲げる授業科目から合計30単位以上を修得し、修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査に合格し、かつ、最終試験に合格すること。

修士論文指導(必修科目)	コースワーク(選択必修・選択科目)	合計30単位以上
4単位	26単位以上	
標準修了年限		2年
学位		修士(公共政策)

スケジュール

コースワークを通じて、問題分析と政策・戦略の企画に必要な知識や方法論を身につけながら、自ら選んだ課題について修士論文等をまとめられるように構成されています。

履修モデルスケジュール

		1年目				2年目			
		春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬
コースワーク (選択必修・選択科目)	26単位以上	8単位	2単位	7単位		8単位	1単位		
修士論文指導 (必修科目)	4単位以上			リサーチ メソッド 説明	研究 計画 発表	進捗 発表		進捗 発表	最終 発表

基礎的科目

科学技術イノベーション政策概論／科学技術イノベーション政策史／公的機関からのイノベーション創出／イノベーションと経済学／科学技術イノベーション政策立案演習、他

応用科目

ビブリオメトリクスとその応用／科学技術イノベーション政策と評価／計量分析演習／科学技術外交論／科学技術イノベーション政策の史的比較／科学技術とアントレプレナーシップ／知的財産マネジメント、他

過去の論文テーマ一覧

年度	テーマ
2020	• How public and private sectors share the roles in making information systems work for public goods: A case of eHealth Center and mandatory CSR law in India
2019	• イノベーションの社会的インパクトに関する考察:物流へのロボット導入を事例として
2018	• 日本における研究者のモビリティーと国際共同研究の関係 -The Mobility of Researchers and International Collaborations in Japan-

修了生の声



小笠原 憲二さん
経済産業省
2019年9月 / 修士課程修了

イノベーション政策の実装に向けて学びを重ねる

私は学生時代、電気、回路、半導体といった“モノづくり”を学び、経済産業省に入省しました。12年目になり、実務においてもより大きな仕組みづくりや経済に関する知識が必要と感じ、職場の国内留学制度を使ってGRIPSに進学しました。STIプログラムの魅力は、科学技術イノベーションに特化したカリキュラム構成になっていること。また、海外経験豊かな先生方が多く、政策に関する知識やバックグラウンドもお持ちであること。ここで学んだことは、技術シーズの活用のみならず、イノベーションをどう捉えるかなど、政策の変化に対応できる広い思考の養成につながりました。



伊藤 千晴さん
元外資系IT企業
2020年6月 / 修士課程修了

誰もがテクノロジーの恩恵を享受できる社会を目指して

新卒で外資系IT企業に就職し、営業やCSRを経験。仕事を通じて、テクノロジーの恩恵を十分に享受できない人がいることを実感し、社会のために技術を活かしていく仕組みについて考えるようになりました。学生時代から国際交流をやってきたことから、科学技術と新興国開発を学べる修士課程を探し、STIプログラムを見つけました。授業では科学技術イノベーション政策一般の他、開発経済学、SDGsなど幅広く学ぶことができます。また、留学生が多く、私の研究フィールドの現状について議論ができるのも魅力の一つです。修了後は、国際機関や企業で、課題解決に繋がるイノベーションを生み出す仕事をていきたいです。

本学では、1年制修士課程「公共政策プログラム科学技術イノベーション政策コース」も併せて設けています。平日昼間にフルタイム修学することで、1年間で修士(公共政策)の学位を取得できます。詳細は政策研究大学院大学のウェブサイトを参照ください。

[https://www.grips.ac.jp/jp/education/
dom_programs/public/innovation/](https://www.grips.ac.jp/jp/education/dom_programs/public/innovation/)



DOCTORAL PROGRAM

博士課程

本プログラムでは、科学的なアプローチを用い、科学技術イノベーション政策や戦略の企画、立案、遂行、評価、修正を行うことができる高度専門職業人および研究者を育成します。このような人材に求められる高度な政策研究能力と政策や戦略の企画・実践力を育成するため、必要となる複数のディシプリンとともに、社会科学諸分野における分析能力、高等教育での教授能力、高度な外国語能力が獲得できるようカリキュラムを編成しています。授業は夜間と土曜にも開講しており、仕事を継続しながら修学することも可能です。

修了要件

カリキュラムに掲げる授業科目から14単位以上を取得し、博士論文提出資格試験(Qualifying Examination)に合格の上、博士論文の最終審査に合格すること。

博士論文指導(必修科目)	コースワーク(選択必修・選択科目)	合計20単位以上
4単位	16単位以上	
標準修了年限	3年	
学位	博士(政策研究), Doctor of Policy Studies 博士(公共政策分析), Ph.D. in Public Policy	

スケジュール

1年目のコースワークでは科学技術イノベーション政策分野を中心に学術的な理論や分析手法を身につけ、ディスカッションやグループワークを通じて政策立案の実践的能力を育成します。2年目以降に博士論文のための研究と発表を通じて研究力を養います。

履修モデルスケジュール

1年目				2年目				3年目			
春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬
コースワーク (選択必修・選択科目16単位以上)											
博士論文指導 1単位	博士論文指導 1単位	博士論文指導 1単位	博士論文指導 1単位								
博士論文提出資格試験 (17単位以上履修後に受験可能)										博士論文 最終審査	

基礎的科目

科学技術イノベーション政策概論／公的機関からのイノベーション創出／イノベーションと経済学／科学技術イノベーション政策立案演習、他

応用科目

ピブリオメトリクスとその応用／科学技術イノベーション政策と評価／計量分析演習／科学技術外交論／科学技術イノベーション政策の史的比較／高等教育・産学連携政策／科学技術とアントレプレナーシップ／知的財産マネジメント／Science, Technology and Innovation Policy in Developing Country Context／Advanced Energy Policy、他

過去の論文テーマ一覧

年度	テーマ
2019	<ul style="list-style-type: none">An Inquiry of Government's Extending the Role of State-owned Enterprises for the Interest of Science, Technology and Innovation Policy : Case Studies from IndonesiaOptimizing International Science & Technology Collaboration through Scientometric Studies
2018	<ul style="list-style-type: none">Promoting Scientodiversity through Research GrantsImpacts of research team diversity and top management on research commercialization of a public research institute in Thailand
2017	<ul style="list-style-type: none">The Societal Impact of Open Access to Research

修了生の声



エルサベリ
エルハサンさん
Mirqah for Scientific Research & Management Consulting
2017年9月 / 博士課程修了

母国エジプトのSTI政策推進を目指して

エジプトのカイロ・アメリカン大学で物理学の修士号を取得後、進路を決めかねていた時にSTI政策という分野があることを知り、GRIPSに入学しました。科学的知識をベースに経済・社会が発展している現代社会において戦略的なSTI政策は不可欠であり、それを学ぶことでいつかエジプトの状況を改善できるのではないかと考えたからです。STIプログラムでは、経済学や公共政策、社会学、科学技術に関わる諸問題、法律といった幅広い知識に加え、大学や産業界のコラボレーションに関する事例、STI政策をどのように社会実装するかについて具体的に学ぶことができました。修了後は一橋大学イノベーション研究センターでの特任講師を経て、現在は、カイロでコンサルティング業務を行っています。



鳴田 義皓さん
科学技術振興機構
2018年6月 / 博士課程修了

実務から生まれる問題意識を政策研究として探求

科学館やファンディング機関で仕事をしてきたことから、科学と社会の関係に关心があり、国内留学制度を活用し進学を決めました。他大学と比較しましたが、GRIPSのSTIプログラムは、開発経済学、公共政策、外交など幅広い分野から構成されていたのが魅力でした。論文や学術機関について、今どういうデータが利用可能で誰がどのような分析をしているのかといった土地勘を得られたのは、現在の業務でも役立っています。在学中は、科学研究の多様性に着目。ファンディングプログラムの性格や規模が、研究の多様性にどのような影響を与えていたのか分析し論文にまとめました。

TRAINING, SEMINARS 研修事業、セミナー等

本プログラムでは、修士課程、博士課程の授業の他にも、短期プログラム、サマーキャンプ、セミナーなどを通じて、国内外の有識者から幅広く学べる環境を提供しています。

科学技術イノベーション政策・経営人材養成 短期プログラム

科学技術イノベーション政策や研究開発戦略の分析、企画・立案、運営、評価に必要な知識と方法の基礎を学修できる社会人向けの履修証明プログラムを提供しています。本学修士・博士課程の正規授業科目であり、科目等履修生制度を活用することで、単位認定をします。正規課程に進学した場合には、単位の移行が可能です。

履修可能な科目(6単位)									
科学技術イノベーション政策概論／公的機関からのイノベーション創出／科学技術イノベーション政策立案演習									
開講スケジュール(2020年度の場合)									
春学期後期 ※7月11日(土)、7月18日(土)は、5限(16:40-18:10)も講義を実施予定 ※7月25日(土)は予備日									
2020年 6月6日～7月18日 土曜日									
公的機関からのイノベーション創出		科学技術イノベーション政策概論		――					
夏学期									
2020年 8月8日～8月10日の 3日間集中講義									
1限 (9:00-10:30)		2限 (10:40-12:10)		3限 (13:20-14:50)					
4限 (15:00-16:30)		5限 (16:40-18:10)		――					
科学技術イノベーション政策立案演習									
受講料等									
● 検定料:9,800円 ● 受講料:114,600円									
募集期間									
例年12月～1月にかけて翌年度の受講生を募集しています。									

サマーキャンプ

文部科学省「科学技術イノベーション政策のための科学」事業に関わる6大学5拠点(東大、一橋大、京大、阪大、九大)、文部科学省、NISTEP、RISTEXなど科学技術イノベーション政策を教育、研究している機関と連携して、夏学期に2泊3日の演習を実施。専門の異なる学生と共に模擬政策立案を行います。



GiST セミナー

OECD、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス、UNU-MERIT、シンガポール国立大学など世界各国から有識者をお招きし、最先端の研究動向、実務動向について講演いただきます。

ベンチマークリングセミナー

国内外の大学とのベンチマークリング等を含む定量的な分析について基本的な知見、手法を学べる機会を提供しています。

LEARNING ENVIRONMENTS 教育環境

政策研究大学院大学では、教務事務を担当する職員に加えコーディネーター(教育プログラムの運営・管理を担当する事務職員)を配置し、学生それぞれの都合に合わせたきめ細やかなサポートを行っています。



国際色豊かな環境

日本を含む45の国と地域から学生が集まっています。また、全学生の約3分の2が留学生という極めて国際的な環境です。留学生の多くは各国の公的機関から派遣されており、自国の政策形成・立案に携わる人材です。他大学にはないGRIPSの特徴的なネットワークです。



図書館

図書館では、政治学、経済学関係の専門書をはじめ、政策研究に必要な和・洋の専門書、逐次刊行物(雑誌、年鑑、統計等)等、広く政策研究に関する文献を利用できます。蔵書数は18万冊を超え、電子ジャーナルを含め12,000を超えるタイトルの雑誌を閲覧可能です。



学術機関リポジトリ

学位論文、ディスカッション・ペーパーを中心に本学の教育研究活動の成果を発信しています。科学技術イノベーション政策に関しては『SciREXワーキングペーパー』というシリーズを発行しており、指導教員と相談の上投稿が可能です。

プロフェッショナル・コミュニケーションセンター

本学で学ぶ学生および教職員は、さまざまな交渉相手と生産的なコミュニケーションを行うことが求められます。そのような場面に必要不可欠となるプロフェッショナルとしてのコミュニケーション・スキルと日本語・英語の言語運用力育成のためにプロフェッショナル・コミュニケーション・センターを設けています。

院生研究室

日本人学生と留学生が共同で利用する院生研究室が整備されており、個人用のブースが用意されています。また、学生の文化や宗教などの多様化への対応として祈りを捧げるスペースを用意しています。